

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトの目的は、地域企業の成長戦略のメカニズムを明らかにすると同時にその成果を地域企業家への企業家教育に活用することである。とくに本研究では、後志地域の地域企業家への研究成果のフィードバックならびに企業家教育を念頭に進めていく。具体的には、後志地域の地域企業と道内ならびに道外の地域企業の先進事例の比較ケーススタディを行ったうえで、論稿等の発表ならびに学部・大学院の授業や研究会を通じて企業家教育を行っていく。本年度は、予算が限られていることもあり、先進事例の調査と分析を主におこなってきた。その成果は、学会報告ならびに論文として公表してきた。とくに、10月31日、11月1日に開催した日本ベンチャー学会第18回全国大会「地域オープン・イノベーションと企業家活動」(於:小樽商科大学)では、本研究代表者の加藤が大会実行委員長を務め、地域の企業家の方々へのフィードバックが行われ大きな成果をあげた。

2. 具体的な取組内容

予算が限られていたこともあり、今年度は、当初の計画のうち、最も先進事例と判断した地域企業・北海道テレビ放送への調査・研究を中心に実施した。同社より、関係者15名へのインタビューの実施、一次資料の提供を受けた。その成果は、3.の通りである。また、日本ベンチャー学会全国大会を本学で実施し代表者(加藤)が大会実行委員長を務めた。2日間の統一論題にて、北海道テレビ放送、北海道日本ハムファイターズ、サッポロビール北海道本社といった北海道の先進事例、ならびに後志を代表して田中酒造などの企業家と議論を深めた。共催企業も多数あり、地域への還元の大きな効果があった。また、3.に記したように複数の具体的な成果をあげることができた。

3. プロジェクトの成果及び地域への還元

研究成果は下記の通りである。なお、地域への還元は日本ベンチャー学会全国大会や講演等を通じて行われた。

【学会報告・研究会報告】

笹本香菜「企業ドメインの設定・活用における戦略的地域性の追求—北海道テレビ放送の事例から—」2015年度組織学会研究発表大会, 2015年6月20日(於:一橋大学)

加藤敬太「北海道テレビ放送におけるドメイン深化のプロセス分析」国際コンテンツ制作ネットワークでのプロデューサーの創造性マネジメント能力の分析研究会, 2015年7月24日(於:京都大学)

日本ベンチャー学会第18回全国大会「地域オープン・イノベーションと企業家活動」(於:小樽商科大学・大会実行委員長・加藤)、統一論題Ⅰ「北海道企業における地域オープン・イノベーションの実践」(コーディネーター・加藤)にて、樋泉実氏「『ひろば』づくりで北海道の未来に貢献する地域メディア」講演&パネルディスカッション

加藤敬太「企業家活動と組織化—北海道テレビ放送におけるドメイン深化のプロセス分析—」2016年度組織学会年次大会, 2015年12月6日(於:大阪大学)

加藤敬太「北海道テレビ放送におけるドメイン戦略—地方テレビ局から地域メディアへの転換とドメイン・コンセンサス—」第6回 創造産業の持続的発展に関する研究会, 2016年2月29日(於:同志社大学)

【論文】

加藤敬太(2015a)「地域企業の活路と地域オープン・イノベーション」『日本ベンチャー学会 会報』第71号, p1.

加藤敬太(2015b)「企業家活動と組織化—北海道テレビ放送におけるドメイン深化のプロセス分析—」『2016年度組織学会年次大会 報告要旨』pp.55-68.

加藤敬太(2016a)「地域オープン・イノベーションと企業家活動」『日本ベンチャー学会誌』第27号, pp.3-13.

加藤敬太・笹本香菜(2016b)「北海道テレビ放送におけるドメイン戦略—地方テレビ局から地域メディアへの転換とドメイン・コンセンサス—」『経済論叢』(京都大学)第190巻, 第1号(近刊)